



◇ 気象庁 大気環境観測所が人事院総裁賞を受賞

気象庁 地球環境・海洋部 環境気象管理官付大気環境観測所（岩手県大船渡市三陸町綾里）が、第 23 回「人事院総裁賞（職域部門）」を受賞しました。

授与式は 12 月 9 日（木）明治記念館（東京都港区元赤坂）において行われ、その後、職域を代表して大気環境観測所長 須藤幸男は天皇皇后両陛下の御接見を賜りました。

1 受賞者

「職域部門」地球環境・海洋部 環境気象管理官付 大気環境観測所
（顕彰理由）

大気環境観測所は、地球規模の温室効果ガス濃度を観測するため、その主要な発生源である都市部から離れた三陸海岸の岬の先端に設置されている。同観測所では人間活動により排出される温室効果ガスによる地球温暖化が社会的に大きな問題として注目される以前から、二酸化炭素等の観測を継続して行っており、地球温暖化問題の科学的解明に貢献している。厳しい勤務環境の下で国際的な技術水準を維持するためには職員の不断努力が必要であり、約四半世紀の長きにわたって継続して得られた同観測所の観測成果は国際的にも高く評価され、公務の信頼性の確保と向上に寄与している。

2 人事院総裁賞の趣旨

人事院総裁賞は、国民全体の奉仕者としての強い自覚の下に職務に精励し、国民の公務に対する信頼を高めることに寄与した職員又は職域グループに対して顕彰するもので、昭和 63 年の創設以来今回で 23 回目となります。

（気象庁ホームページから）